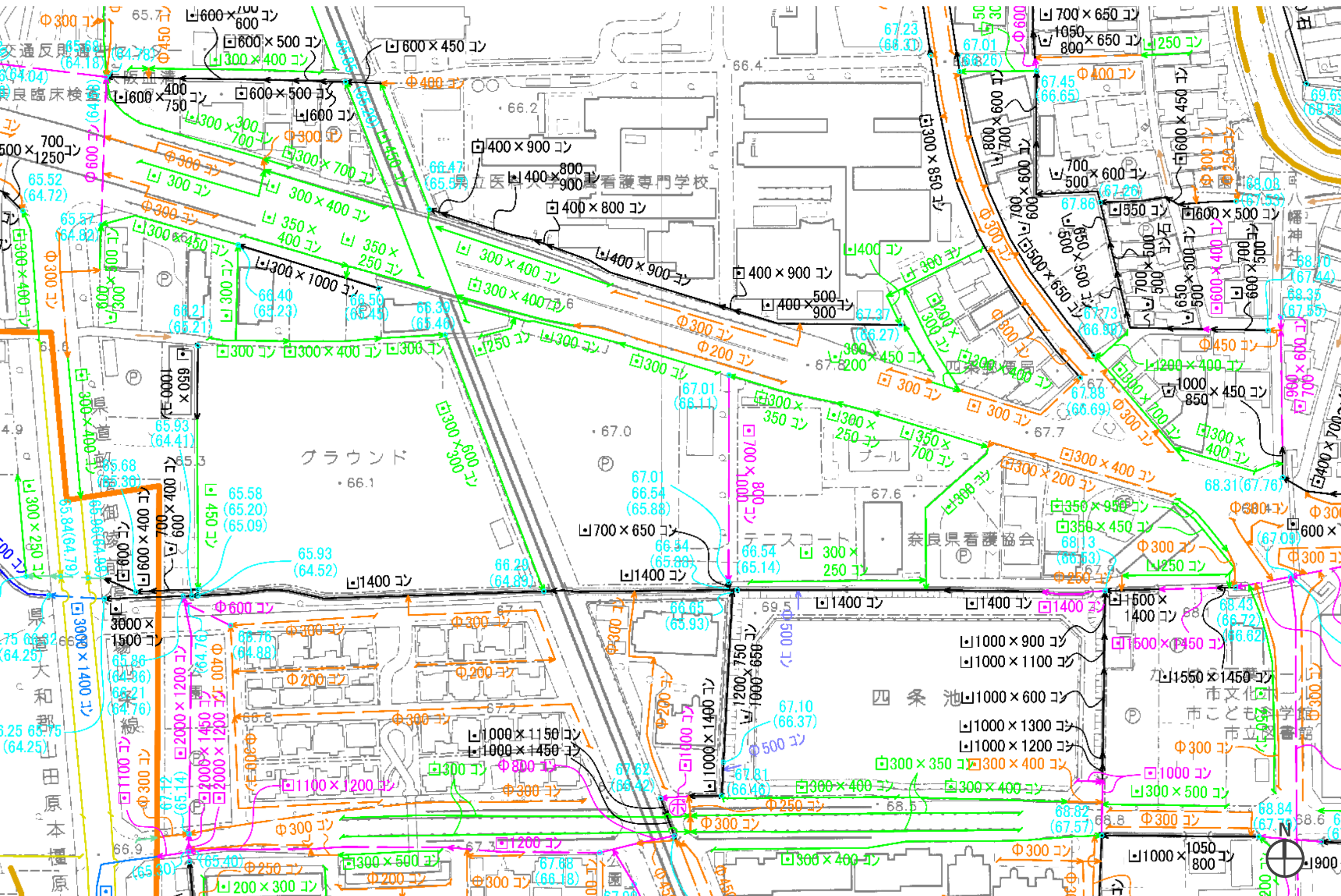


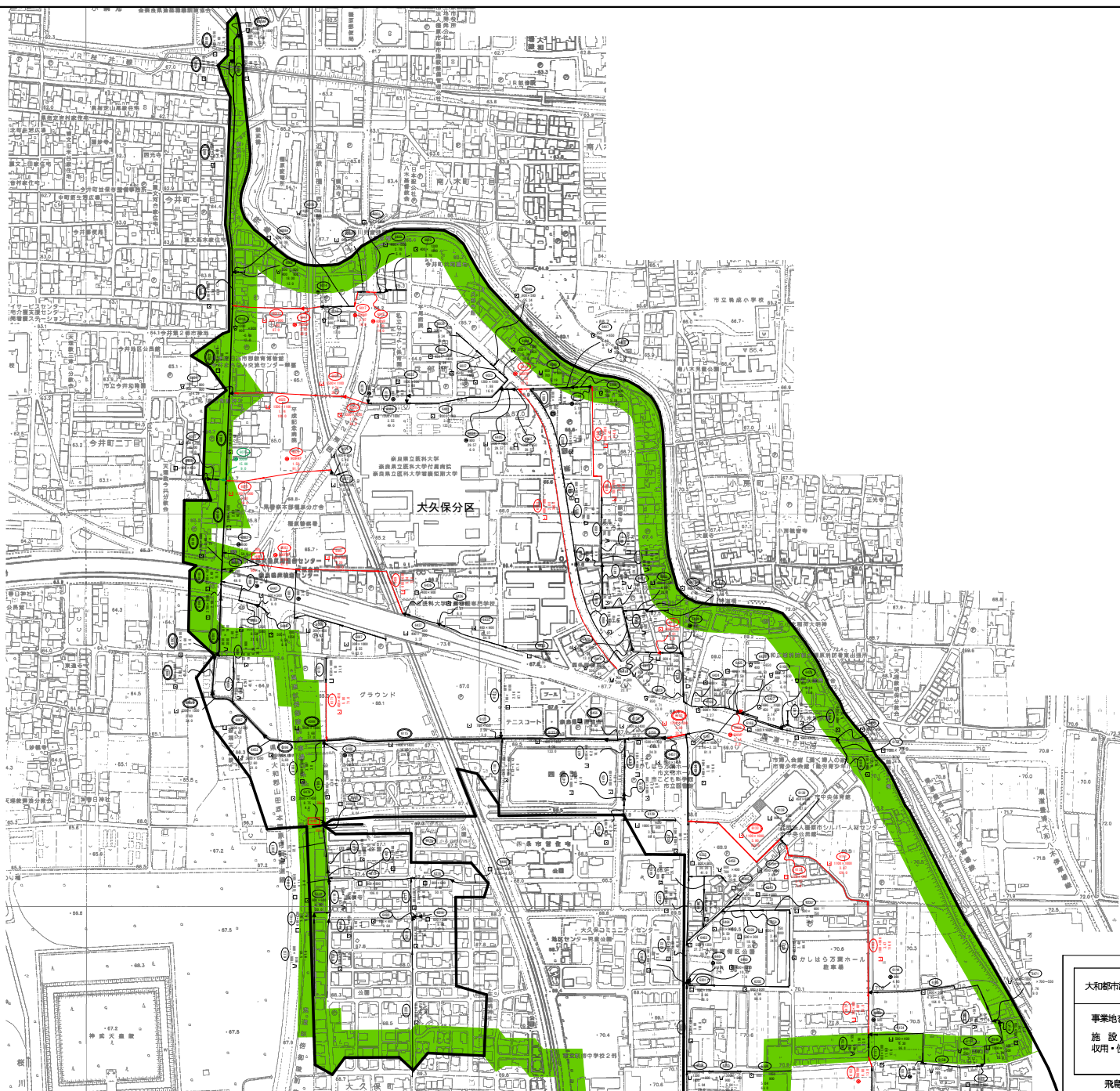


※参考資料であるため正確な水路の位置、流れ方向、サイズ等は現地で確認をお願いいたします。

## ○現時点における雨水幹線の切替に関する基本的な条件（想定）

- a. 飛鳥川第一排水区 路線6099は、雨水流出量 $Q=7.236\text{m}^3/\text{s}$ を8割水深において満たすこと（函渠の場合は9割水深でも可）。
- b. 飛鳥川第一排水区 路線6115は、雨水流出量 $Q=4.929\text{m}^3/\text{s}$ を8割水深において満たすこと（函渠の場合は9割水深でも可）。
- c. 平面的に迂回する場合は、水路又は雨水幹線の曲がりをできるだけ緩やかに計画し、方向の変更は原則として30度以下とすること。
- d. 暗渠とする場合は、原則として約10mに1箇所を目安に点検孔を設け、折れ点には必ず設置すること。
- e. レベル2地震動に対する耐震性能を確保すること。
- f. 路線6121を改修する場合は、軌道横断部を含め一体的に検討すること。
- g. 上載荷重はT-25を基本とすること。





| 凡 例 |          |
|-----|----------|
| 記 号 | 名 称      |
|     | 市町村境界線   |
|     | 大字境界線    |
|     | 字境界線     |
|     | 認可 収用の部分 |
|     | 認可 使用の部分 |

|                                                            |              |       |
|------------------------------------------------------------|--------------|-------|
| 大和都市計画下水道                                                  | 橿原市流域開発公共下水道 | 図面番号  |
| 事業地を表示する図面（都計法）<br>施設平面図<br>収用・使用を表示する図面 S=1:2,500<br>(雨水) |              | 15/83 |
| 飛鳥川左岸第1排水区 (1/3)                                           |              |       |